

「石川県弓道連盟ホームページ」アクセス数の推移と向上策

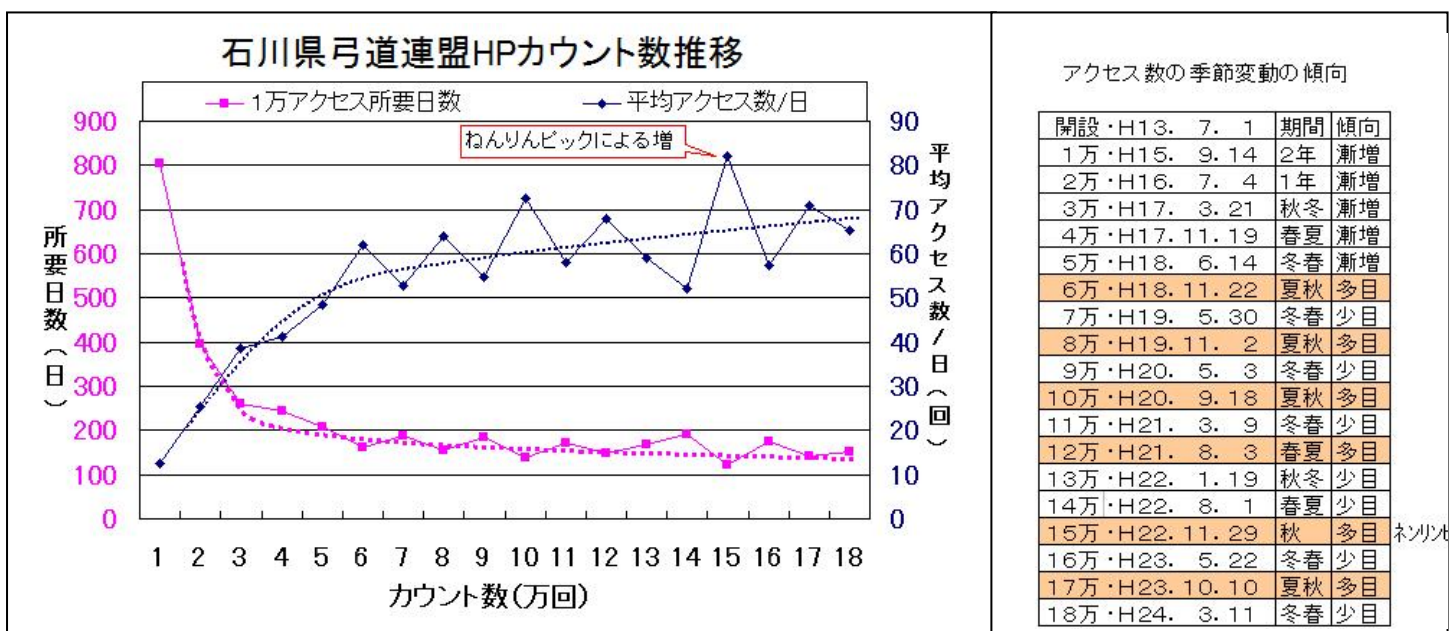
H24.5.19

広報部長

1、はじめに

水橋会長がホームページのアクセス数の増加が連盟の活性化あるいは会員の増強につながるのではないかと考えを示されているので、現状のアクセス数の状況を若干の分析について報告・提案します。

2、過去からのアクセス数の推移



アクセス数は、H24年3月現在、18万アクセスであり、開設から1万アクセス毎の所要期間は上図の様に徐々に短くなって、現在は150日である。

また、1日あたりのアクセス数の推移を見ても70弱アクセス/日で推移しており、季節変動もあることが上表によって分かる。春から秋にかけての期間にアクセス数が多い。これは、春から秋にかけて各種行事、特に大会、審査が多いことにより、案内、結果を見る人が多いことが考えられる。

14万～15万アクセスの間アクセス数が多いのはねんりんピックの案内、結果へのアクセスが全国からあったものと推察される。

最近のアクセス数を分析するとH23年5月～24年3月まで10ヶ月で20000回のアクセス÷2000回/月÷65回/日である。

H23年の会員登録数は805名である。

もし、800名の方が仮に1週間に1度見たとすると、50週として、40000アクセス位になる。

計算上は、24000回÷40000÷0.6・・・会員の6割の人が週1回見ている計算になる。

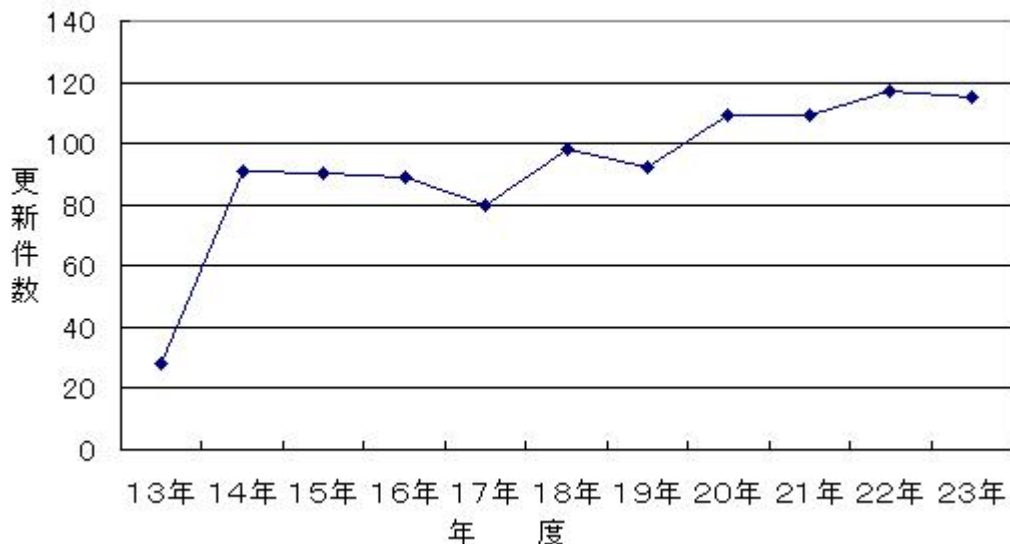
現実には、広報部メンバーが確認のために見る、県連幹部が確認のため見るなどが、半数以上を占めていると

言う話しもあるので、2～3割の会員が週1回位見ている程度に考えるのが妥当かも知れない。  
 しかし、この2～3割週1回の数字も、大会等に積極的に出場している活動的な会員数の全会員数に対する比率は良く分からないが、アクティブ会員が結構見ていると云うべき数字でないだろうか。

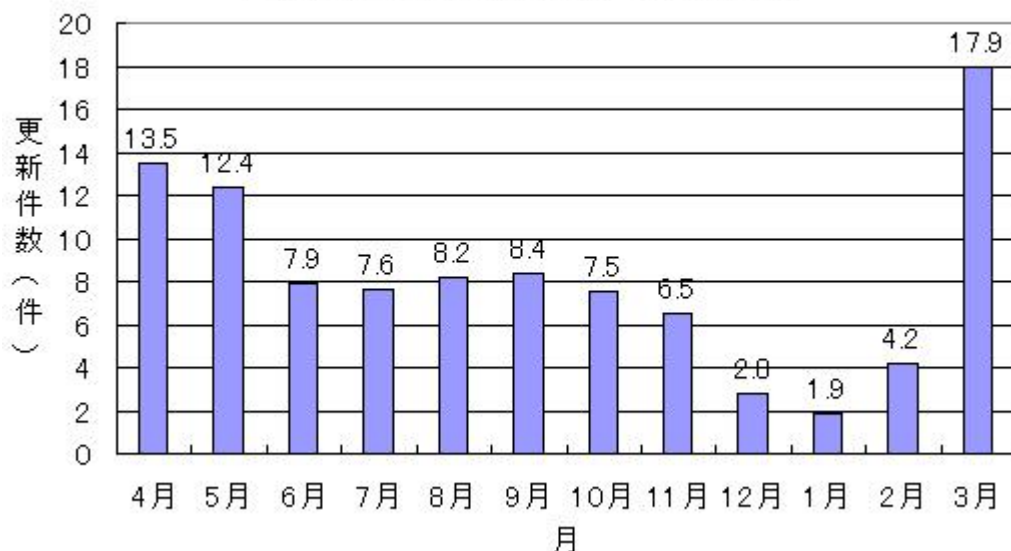
### 3、更新回数とアクセス数の増加の関係

一方、ホームページの更新件数は数のように少しずつではあるが増加傾向にあります。

石川県弓道連盟HP年度別更新件数推移



石川県弓道連盟HP月別過去平均更新件数



アクセス数の増加傾向と、更新数の増加傾向はかなり似た傾向がある。  
 月別の傾向から見ても、更新数の多い春から秋にかけてはアクセス数も多い傾向である。  
 したがって、アクセス数を増加しようとするれば、更新数 (=コンテンツ数) を増やせば良さそうだとも言えそう。  
 アクセス数の増加傾向が落ち着いてくる7万アクセス (H19.5) から18万アクセス (H24.3) までのアクセス数の増加分は点線で表示されている漸近線でみると1日平均10アクセス増えている。

また、更新件数は H19 から H24 年度では、年間 20 件（月 2 件弱）増えている。

これから、同じような傾向だとして単純比例計算すると、例えば 1 日あたりのアクセス数を 30 回強増やして 100 回/日にしようとするれば、年間 60～70 件（月 5 件強）増加させる工夫をすれば良いことになる。

ただし、年間の行事等の件数はほぼ変化がないので、このままでは更新回数は増加はしない。

新たな、コンテンツを開拓しなければならないことは間違いない。

しかし、月間 5 件もの追加コンテンツを簡単に実現できるとは思えない。

#### 4、更新回数増加（＝コンテンツ増加）方法の試案

##### （1）

これは、一度掲載してしまうと継続更新することは無い。

したがって、更新数の継続的な増加にはつながらない。（継続的なアクセス件数増加にはならないが、このコンテンツができた暁には、これを不特定多数の人に目に付くような工夫して、アクセス数増につなげる。）

しかも、初心者向けのコンテンツは全弓連の HP の「弓道の世界」（・弓道の歴史、・射法について、・道具について）のないよう以上の紹介記事を県連の公式見解としてまとめ切れるのかと言う大きな課題もある。

しかし、何らかの形で初心者向けのコンテンツをまとめるとすれば、担当の部で検討いただきたい。

##### （2） 会員数増加＝初心者をはきつけるもしくは経験者を復活させるコンテンツ

「弓道石川」のホームページへの転載と過去の記事（の一部）を載せる

現在、「弓道石川」は紙ベースでのみ、会員に配られている。

理由は、「内容がネットで全国不特定多数に流れることを石川県連をして善しとしていない」とお聞きしております。

記述の文責者の名前を明確にすることではダメなのか。

ダメなコンテンツがあるのであれば、それを明確にできれば、それ以外を掲載するということができないか。

いわゆる「ネット版弓道石川」（弓道石川抜粋版）の考え方である。

一方で、年配の方々はネット環境を持たず、紙ベースの「弓道石川」は必須だと云うことは、理解している。

ホームページ上にあれば記事は検索ができ、アーカイブスとしての価値がでます。ただ、PDF 版等のものは検索によってその内容まで検索できない。

##### （3） 学生、生徒の記事を載せる

特に、中高校生は、その家族を含め見る傾向が強い。以前に、大会の結果がまだ載らないのかという問い合わせもあつたりしたこともある。

・大学、高校、中学の部活の紹介と、主将の抱負を載せる。

##### （4） 県連支援の大会出場者からの結果報告書の掲載

石川県弓道連盟報酬、旅費規程上は

（旅 費）第 3 条 次の事由に該当する場合には旅費を支給する。

（3） 県連の要請に基づき、会員が県外の大会や講習会等に出席するとき。

（復 命）第 5 条 第 3 条第 1 号、第 3 号及び第 4 号による場合は、当該用務終了後速やかに復命書又は結果報告書を作成し、県連会長あてに提出しなければならない。

とあるので、今後は、結果の如何によらず会長宛提出された「結果報告書」の掲載をする。

(5) 各役員、専門部長等の抱負（あるいは弓道を始めたきっかけ等）の掲載  
字数は多くなくても、順次載せていく。リレー形式でも良い。

(6) 各協会長等による協会の紹介記事の掲載

これにより、協会の活動時間や状況が分かり、弓道教室だけの情報だけでなく、外部からの敷居が低くなる可能性もあるのではないか。

(7) 初心者教室の終了者の感想文の掲載

これが、次の人の教室入門のためには参考になるはずであり、タイミングとしては教室終了時点、初段取得時点などが考えられる。

(8) 大学弓道部等のホームページへのリンク掲載

県連のホームページは大学等弓道部からはリンクが張られているようだが、逆にも張る。

(9) 何か動画を載せるような題材が無いか

弓道場の紹介でもいいし、全国大会優勝者の映像でもよいと思うが、敷居は高い。

(10) 理事会（旧常任理事会）議事録の掲載

従来からも、スペースは設けてあるが、投稿がないので、ここ数年は未掲載である。  
これは、掲載に何か問題があるのかどうかも、分からない。

(11) その他

その他、ご意見、提案があれば頂きたい。

## 5、まとめ

広報部メンバの入れ替わりに伴い、新会長のご意向もあり、議論・検討してみました。

以上、提案はしましたが、コンテンツの提供は県連役員等が率先して頂き、会員も書いて頂けるようにしなければ、絵に描いた餅になります。

この内容の是非、4項での具体的な試案について、一項目ずつ効果的かどうか、また実行可能であることを、議論いただき、可能なものは順次取り組みを開始するようにしたい。

多分、この結果如何によっては、竜頭蛇尾になりかねませんが、少しずつメンバー一同頑張っていきたいと思えます。

この結果等を踏まえて、「弓道石川」についても、広報部内で議論して行きたいと思っています。

以上（文責：黒川 正道）